

わかりやすい

車椅子

ハンドボール

ルール



日本車椅子ハンドボール連盟

初めて車椅子ハンドボール競技をする方々に

平成 25 年 1 0 月現在

車椅子ハンドボール競技は 6 人のプレーヤからなる、2 つのチームがボールをゴールポストに投げ入れる事を競う団体競技であります、障がい者の方々や、子供でも大人でも男女を問わず楽しめる球技です。

車椅子ハンドボール競技の良さは、コートもボールも手ごろで、規則も簡単でスピードを生命としており、特にゴールエリアライン付近での攻防のかけ引きは、特に、おもしろさがあります。

* コートの広さは 3 5 m × 2 0 m で、ゴールポストは横 3 m 高さ 1, 6 5 m であります。

* ゴールエリアライン (6 m) とフリースローライン (9 m) はゴールポストの中央 (1, 5 m) からの半円です。

* ボールを保持して、車椅子のハンドリムを連続して 4 回以上プッシュした場合 (片手でのプッシュや方向転換も含む) は「オーバープッシュ」の反則で相手のボールとなります。

* 競技時間は前後半各 1 5 分間で休憩は 5 分間です、チームタイムアウトは各チーム前後半に各 1 回づつ 1 分間です。

* コートには、ゴールエリアラインと呼ばれる線があって、その中にはゴールキーパー以外は入れません。

* ボールは、直径 1 6 c m ~ 1 8 c m のソフトタイプのボールです。

競技は、コートの中央でスローオフ (ボールを投げる) によって始められます。プレーヤはお互い協力しあってボールをパスとドリブルによって前進させ、相手側のゴールへ、シュートして、ゴールに入れば得点 1 点なります。

防御側は、相手チームの攻撃を防ぎ、ボールを獲得したら直ちに攻撃に移ります、ゴールキーパーは、ゴールを守り相手の得点を阻止するとともに攻撃のきっかけを作ります。このように攻撃から防御へ、又、防御から攻撃に移る変化に富んだスピーディーな競技です。

車椅子

- ・ドタイプ
- ・ツタイプ
- ・は、座布
- ・までを5



固定ベルト



オーバープッシュ



車椅子
連続4回
場合は、
のボー



フロントボール



床の上にあるボールを車椅子のフットプレート部より前で拾った時は反則で相手チームのボールになる。



ボールが跳ねている時に車椅子の前面でボールをキャッチしてもセーフ



車椅子の横側で床にあるボールを拾ってもセーフ

ストップボール



車椅子の下にボールが入り、
ボールの動きが停止した時は
反則で相手ボールになる

ゴールキーパー

ゴールエリア内での防御動作に於いて、下肢又は足首以外の身体のある部位、あるいは車椅子でボールに触れる（止める）事

下肢又は足首でシュートを止めた時は、審判の判断により相手チームの得点もしくはペナルティスローになる。

ラインクロス



コートプレーヤの車椅子がゴールエリアラインを超えた時は反則で相手ボールになる

チャージング

攻撃側の車椅子が相手にぶかった時は、相手ボールで再開



サイドスロー



ボールがサイドラインからコート外に出た場合は、最後にボールに触れなかったチームがサイドラインからスローインで再開